

三次元で
見る、
看る、
診る

3Dビジョンセンサーで 広がるミライ

6thサイエンスカフェ@苫小牧

プレゼンター：青木 広宙
(千歳科学技術大学 理工学部 電子光工学科・准教授, 博士(工学))

日時：2015年7月25日(土) 17時30分～19時30分

場所：苫小牧市美術博物館 研修室

定員：50名

申し込み：電話(0144-35-2550)またはホームページから

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutukan/>

3Dビジョンセンサーで広がるミライ

デジタルカメラなどの画像計測のための手段を、ビジョンセンサーと呼びます。従来のビジョンセンサーで撮影される画像は、二次元（2D）の情報でしたが、最近では、三次元（3D）の情報を取得できる3Dビジョンセンサーが開発されました。

ビジョンセンサーの応用分野は、これまで、製造用ロボットの制御や製品の検査など生産現場での利用が中心でしたが、3Dビジョンセンサーの登場により、自家用自動車の運転制御、エレベーターの運行制御、室内セキュリティの監視、家庭用ゲームマシンのコントローラなど、わたしたちの生活の中でも広く使われるようになってきています。

今回のサイエンスカフェでは、3Dビジョンセンサーのしくみやその応用事例についてお話しします。また、プレゼンターが研究をすすめている医療・福祉・健康増進への応用についても紹介します。

プレゼンターのプロフィール

青木 広宙 (あおきひろおき)



1973年新潟県生まれ、新潟県育ち。早稲田大学大学院修士課程修了後、土建業に就職するも、画像工学に興味を持ち、一年で退職。ライバル校の慶應義塾大学の大学院に進学。その後、慶應義塾大学研究員、同知的資産センター産学官連携コーディネーター、香川大学知的財産活用本部助手、東京理科大学助手・助教、名古屋工業大学特任助教・特任准教授、広島市立大学特任准教授など全国の大学を転々とし、2013年より千歳科学技術大学准教授。生体計測、画像計測に関する研究に従事。IEEE、ACM、電子情報通信学会、電気学会、生体医工学会などの各会員。博士(工学)。趣味は、美術鑑賞、書道と水墨画（最近はじめたばかり）、カレー作り（味はプロ級（自稱））。

苫小牧市美術博物館 あみゆー

苫小牧市末広町3丁目9番7号 TEL 0144-35-2550

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutukan/>